



## 図書委員会を中心とした読書推進活動 他

福井県 福井県立武生東高等学校

### 基本データ

所在地	越前市北町 89-10
児童生徒数	571 人
教職員数	61 人
蔵書数	約 35,000 冊
年間貸出冊数	約 12,600 冊

### テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 読書を生徒に積極的に呼びかけ、「図書委員会を中心とした読書推進活動」、「他の図書館や地元企業との連携」、「ビブリオバトル大会」、「教科との連携」、「ポイント制度の開始」など、様々な形で推進を図っている。

### 取組・活動の概要

#### (1) 図書委員会を中心とした読書推進活動

- ①展示の工夫（動線を意識した展示）
  - 階段の蹴込板（けこみいた）への展示を定期的実施。また、情報の授業を利用して、読書週間のポスターを約 200 枚作成し、図書館へ続く渡り廊下に掲示し、図書館への動線を意識して展示した。
- ②部活動や楽器演奏者とコラボレーションした図書館企画の開催
  - 演劇部による絵本原作の上演、放送部による朗読会・書籍紹介、さらに朗読会では地域の奏者を招いた生演奏を行うなど、他部や外部人材と協働した催しを実施している。
- ③ブックハンティングと選書会
  - クラスの図書委員が、リクエスト本の調査を実施し、直接書店で選書（ブックハンティング）を行ったり、校内で選書会を行ったりするなど、各教室とのパイプ役として活動している。
- ④おすすめする新聞記事への付箋貼り
  - 図書委員の注目記事や、受験や課題研究に活用してほしい新聞記事に、当番の委員が毎朝キーワードを記入した付箋を添付している。
- ⑤放送部との連携
  - 「ランチタイムライブラリー」と称して、放送部と図書委員会が連携して実施している。図書館からのお知らせや朗読・新聞記事のアナウンスなど年間 80 回以上行われている。

#### (2) 公立の図書館や、地元企業との連携

- ①地元企業 2 社からの書籍費の継続した寄付
    - 企業の趣旨に沿った選書を行い、生徒が利用しやすいようコーナーを設けている。
  - ②公共図書館等との連携
    - 福井県立図書館・越前市中央図書館からの団体貸出や配達サービスを利用することで、調べ学習等において自校で不足する資料を提供している。  
また、福井県独自の「風花文庫」などを利用し、郷土にゆかりのある作家などにふれる機会を設けている。
    - 越前市「かこさとしふるさと絵本館 硯(らく)」との連携を行い、紙芝居ボランティアのメンバーを育成している。
    - 越前市の「読書のまち宣言」（平成 25 年に宣言）にあわせて「読書の学校～読書イズム～」を宣言し、お気軽読書（かるどく）・友達読書（ともどく）・家族読書（うちどく）・地域読書（まちどく）・学習読書（がくどく）を推進している。
- #### (3) ビブリオバトル大会
- 第 1 回福井県ビブリオバトル大会から連続入賞し、生徒らのビブリオバトルへの興味関心が高まっている。
  - 全国大会に 3 回出場し、平成 28 年度に続き令和元年度の大会でも全国 2 位入賞となった。



ビブリオバトルの様子

#### (4) 教科との連携

- 現代社会や国際科の授業においてディベートを行う際に、関連書籍や新聞を読み、立論・反対尋問のための資料として活用している。また、国語において生徒が作成した作品（『羅生門』の帯作り、『源氏物語』新聞作り）を掲示した。

#### (5) ポイント制度の開始（平成 30 年度より）

- ビブリオポイントカードを作成し、読む活動から、考えて書く活動につなげている。ビブリオポイントカードは、要約、キーワード、自分の考えを書くカードである。
- 国語科では、入学生を対象として、入学前の春休みに推薦する新書を提示し、カードを記入させ、高校の学習への橋渡しとしている。社会科では、キャリアデザインの学習として、自分の関心のある分野の新書を自分で選び、カードを提出することで、1学期中間考査の代替として評価した。

### 取組・活動の工夫や特徴

#### 【階段の蹴込板（けこみいた）への展示】

- 誰もが通る機会の多い階段を使って、貸し出しベスト本等のテーマを決めて展示し、読書活動の啓発に努めた。この展示は書道部とのコラボレーションも行っている。

#### 【書評選書会】

- 令和元年度には、初めて全国 SLBA 選定図書パンフレットから読みたい本を選ぶ「書評選書会」を行った。書店での選書は好きな本に偏るが、SLBA 選定図書は、各分野が網羅されているため、選書のバランスもよくなり、企画に参加した生徒の感想も好評である。



書評選書会

#### 【おすすめする新聞記事への付箋貼り】

- 家庭では新聞購読をしていなかったり、読む時間がなかったりする生徒が様々な新聞を毎朝読むことで、読み比べる力、速読する力が育っている。また、高校生の目線での注目記事は、生徒間の対話のきっかけにもなっている。

#### 【紙芝居ボランティアのメンバー育成】

- メンバーは令和 2・3 年度に越前市で開かれる「全国紙芝居まつり」への参加を目指して活動を続けている。紙芝居を演じることにより、プレゼンテーション力のアップにつながり、その場で臨機応変に対応する力も育っている。

#### 【ビブリオバトル大会】

- 平成 30 年度までは 2 年生のみの行事であった「校内ビブリオ大会」は、令和元年度から学校全体で取り組む行事となっている。

### 取組・活動の成果や今後の展望

- 本校では、読書を生徒に積極的に呼びかけてきたが、読書を通してさらに考える力・書く力を養成するため、キーワードの抜き出し・要約・考えなどを書くビブリオポイントカードの取組をはじめた。内容を的確に要約する力だけでなく、自分の考えを客観的に示すことで、論理的な力を培う。また、興味、関心の高い分野についての知識習得を目指している。
- 様々な教科との連携はもちろんのこと、参考になる分野や読ませたい相手を書く項目を設け、メッセージを送る相手に何をどう伝えたら効果的か、十分に表現されているかなどを考えながら、ポイントカードに取り組むことで、読書が受動的なものから能動的なものへと変化は始めている。